

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方(もしくは代理人の方)にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	撮影済みアミロイド PET を用いた視覚評価に与えるアミロイド定量ソフトウェアの影響に関する研究		
1. 研究の目的と方法	アルツハイマー病の特徴の一つは脳内アミロイドベータ(以下、A $\beta$ )の沈着であり、ポジトロン断層撮影(以下、PET)による脳内の A $\beta$ の画像化(以下、アミロイド PET)は、AD と非 AD の鑑別診断の精度向上、認知症の研究、診療、および治療薬開発に役立つと期待されています。 アミロイド PET は視覚読影による陽性が陰性かという定性判定のみが行われており、アミロイド PET の定量的測定や脳内分布の意義については 未だ研究段階であり、その診療的意義は未確立です。 本研究では、既に撮像されたアミロイド PET を Amyquant というソフトウェアで解析することにより視覚による陽性・陰性判定の再評価に及ぼす影響を検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年6月30日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2022年4月以降に附属病院および新橋健診センターにてアミロイド PET を受けた患者さん		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	アミロイド PET トレーサの種類、アミロイド PET の撮像条件、アミロイド PET の Amyquant 解析前後の陽性・陰性判定とセンチロイドスケールおよび Z スコアマップでの陽性部位の一覧	
	(4) 情報の取得の方法	診療録より上記の情報を取得しますが、個々の症例の画像データの提供はありません	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 精神医学講座
		氏名	品川俊一郎
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	< 研究代表機関 > 一般財団法人脳神経疾患研究所南東北創薬・サイクロトロン研究センター 松田博史 (機関の長：渡邊一夫)		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(4)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法：パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付 試料・情報の利用または提供予定開始日：2023 年 9 月頃～</p>	
<p><b>【問い合わせ先】</b></p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 精神医学講座 研究責任者：准教授：品川俊一郎（しながわしゅんいちろう） 電話番号：03-3433-1111（内線：3301） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p>	

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。